

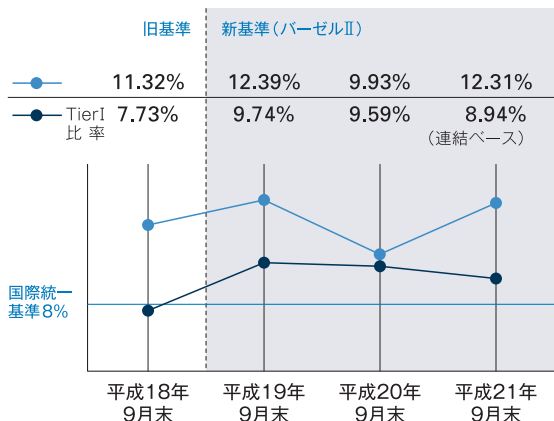
格付けは「A+」、自己資本比率は国際統一基準をクリア。



自己資本比率

自己資本比率は、経営の安全性、健全性を判断する基準のひとつで、リスクに対する備えを示す指標です。

当行の連結自己資本比率は12.31%（平成21年9月末現在）と、国際統一基準をしっかりとクリアしています。



国際統一基準による自己資本比率

| | | | |
|-----------------------------------|---|----------------------------------|-------------------|
| Tier I 資本金・資本剰余金・利益剰余金などの基本的項目 | + | Tier II 有価証券含み益の45%相当額など補完的項目 | × 100 ≥ 8.0% ※ |
| 信用リスク | + | オペレーショナルリスク | |

平成19年3月期から自己資本比率算出について、新しい基準（バーゼルⅡ）を適用しています。当行では、信用リスクの計測手法として「**基礎的内部格付手法**」、また、オペレーショナルリスクの計測手法として「**粗利益配分手法**」など、より高度なリスク管理が可能となる計測手法を採用しています。

※しがざんのように海外に営業拠点を持つ銀行には、自己資本比率を国際統一基準である8%以上にすることが求められます。

格付けランク

格付けは、銀行外部からの評価指標であり、お客さまが安心、なっとくしていただく際の判断基準のひとつです。

当行では、格付投資情報センター、日本格付研究所のふたつの機関から、高い評価をいただいています。

格付投資情報センター（R&I）

AAA
AA+
AA
AA-

A+

信用力は高く、部分的に優れた要素がある

A
A-
BBB+
BBB
BBB-
BB+
BB
BB-
B+
C

日本格付研究所（JCR）

AAA
AA+
AA
AA-

A+

債務履行の確実性は高い

A
A-
BBB+
BBB
BBB-
BB+
BB
BB-
B+
C
D

（平成21年9月30日現在）

格付け

銀行預金の元利金支払の確実性や安全性について、利害関係のない第三者が判断してその結果を簡潔な記号で表示したものです。いわば、銀行を判断する上で、安全性・信用度を客観的に評価した重要な指標のひとつです。